

第24回 幸田彦左まつり

平成24年7月28日(土) 午後5時～9時
※雨天の場合、翌日に延期

タイムスケジュール

17:00	開会アトラクション(中央公園)
17:30	開会式(中央公園)
18:00	コウタレンジャー、パラパラなど特設ステージ イベントスタート(駅前会場)
18:00	荻谷小鼓笛隊などパレードスタート
18:05	幸田文化協会民謡踊りスタート
18:30	彦左仮装行列、国際交流サンパレードスタート
19:45	彦左衛門セレモニー(駅前会場)



▲坂崎にある大久保陣屋跡地

彦左(大久保彦左衛門)てどんな人?

本名…大久保忠教(1560 - 1639)

1560年、現在の岡崎市上和田で生まれる。戦国時代から江戸時代前期にかけて徳川家康に仕えた武将。「彦左衛門」という呼び名は通称。

17歳で初陣、大坂の陣などで数々の武功を挙げ、のちに駿府城の直参旗本に命じられました。そのとき幕府から受けたのが三河国額田郡(現在の岡崎市を含む)の領地であり、そのうちの約千石が幸田町の坂崎でした。現在、坂崎区の八百富社が建つ場所に大久保陣屋があり、当時の石垣が今に残ります。



彦左といえば…たらい&天下の御意見番!

大久保彦左衛門の逸話は数々の書で伝えられています。それらの記録により彦左衛門の人物や経歴が分かるにつれ、伝説的な話も含めながら世の中に広まってきました。

有名な「たらいに乗ってのご登城」は、当時、旗本以下の者が籠に乗って登城することが禁止されたことに伴い、「年寄りや病人、足の不自由な人もいるのに、それをとどめるとは言語道断! 大たらいは籠にあらず!」と言って登城したとか。これもあくまで伝説ですが、何とも痛快な話です。

晩年の彦左衛門が書いたとされる「三河物語」。これは自分の子孫へ残した家訓書であり、徳川家・大久保家の経歴などを記しています。戦国時代に比べると、江戸時代は平和であり、「戦に長ける者」よりも今でいう「政治に長ける者」が出世する世の中となりました。彦左衛門自身も戦で出世を成し遂げてきた人物ですが、時代の変化の中で感じた不満や自分の考えを書きまとめており、門外不出としながらも、子孫以外に読まれることを決して拒みませんでした。年寄りの愚痴でありながら、「悪いものは悪い!」ときっぱり述べているこの書は、当時の江戸庶民には心地よいユーモアであり、自ずと共感を得ながら世間へ広まり、時とともに誇張されながらも、現代に「天下のご意見番」のイメージを伝えているのです。

※詳しい内容は幸田町ホームページ「町の概要」→「大久保彦左衛門」をご覧ください。

みんなそろって、行こまわ! 行こまわ!

幸田町にもゆかりのある庶民のヒーロー・彦左衛門。この彦左衛門を慕うまつりとして「幸田彦左まつり」は平成元年にスタートしました。

彦左衛門や一心太助(彦左衛門の側近である魚屋さん)に扮した各コミュニティや町内企業の皆さんが仮装行列をし、歩行者天国になった幸田駅前を練り歩きます。カラオケショーや民謡踊り、マーチング隊やサンパレードなど、仮装行列以外の催しもたくさん!

夜店や花火などで幸田の夏を盛り上げます!

問合せ 産業振興課商工観光G (内線263)



◎まつり当日は、午後6時から9時30分まで、左図の区画で車両通行止めになります。
◎車は午後4時以降に上図のPに停めてください。◎駅前駐車場は無料(午後4時～10時)

発行□愛知県幸田町(毎月1日発行) 編集□総務部企画政策課

〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1 ☎(0564)62-1111 FAX(0564)63-5139

ホームページ□<http://www.town.kota.lg.jp/> Eメール□kota@town.kota.lg.jp 町の花「つばき」

携帯電話用ホームページ□<http://www.town.kota.aichi.jp/mobile.html> 町の木「やまぐら」



携帯用
QRコード

○「広報こうた」7月号の印刷経費は1部約34.20円(税込)です。

広報こうたは、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

